

SIP(戦略的イノベーション創造プログラム)
次世代海洋資源調査技術推進委員会(第5回)
議事要旨

1. 日 時：平成27年4月24日(金) 13:00-15:00

2. 場 所：中央合同庁舎4号館11階 共用第1特別会議室

3. 出席者：(敬称略)

(総合科学技術・イノベーション会議) 久間和生 常勤議員、SIP ガバニングボード議長

(議長) 浦辺徹郎 プログラムディレクター(PD)

(SubPD) 辻本崇史 (独) 石油天然ガス・金属鉱物資源機構 理事

堀田 平 国立研究開発法人海洋研究開発機構 理事

(有識者) 竹内俱佳 電気通信大学 名誉教授

浅田 昭 東京大学生産技術研究所海洋探査システム連携研究センター長 教授

林謙一郎 筑波大学大学院 生命環境科学研究科 地球進化科学専攻 教授

(関係省庁) 藤田雅之 総合海洋政策本部事務局 参事官

清浦 隆 文部科学省海洋地球課 課長

田守光洋 経済産業省資源エネルギー庁資源・燃料部鉱物資源課課長補佐

(代理出席)

山内智生 総務省情報通信国際戦略局 宇宙通信政策課 課長

河野 順 国土交通省海事局海洋・環境政策課 技術企画室 室長

小谷野喜二 国土交通省港湾局海洋・環境課 海洋利用開発室 室長

嶋田 章 環境省総合環境政策局総務課環境研究技術室 (代理出席)

(実施機関) 木川栄一 国立研究開発法人海洋研究開発機構

次世代海洋資源調査技術研究開発PTプロジェクト長

磯崎芳男 国立研究開発法人海洋研究開発機構海洋工学センター長

山崎 徹 国立研究開発法人産業技術総合研究所

地質情報研究部門地殻岩石研究グループ主任研究員 (代理出席)

矢野博之 国立研究開発法人情報通信研究機構

ワイヤレスネットワーク研究所 所長

田村兼吉 国立研究開発法人海上技術安全研究所 研究統括主幹

山本 浩 国立研究開発法人港湾空港技術研究所 理事

河地正伸 国立研究開発法人国立環境研究所

生物・生態系環境研究センター 生物資源保存研究推進室 室長

(オブザーバー)

文部科学省、経済産業省、総務省、国土交通省・海事局、国土交通省・港湾局、環境省、内閣府総合海洋政策本部事務局、(独)石油天然ガス・金属鉱物資源機構、国立研究開発法人海洋研究開発機構、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国立研究開発法人情報通信研究機構、国立研究開発法人海上技術安全研究所、国立研究開発法人港湾空港技術研究所、国立研究開発法人国立環境研究所、(一社)海洋調査協会、次世代海洋資源調査技術研究組合

(事務局) 松本英三 内閣府 大臣官房審議官
田沼知行 内閣府 科学技術・イノベーション担当 企画官
山本大介 内閣府 科学技術・イノベーション担当

4. 議事

(1) 平成26年度成果概要および平成27年度実施計画について

- ・実施項目 2 ③ROVによる高効率海中システムの開発(JAMSTEC)
- ・実施項目 2 ①海洋資源調査システム・運用手法の開発(J-MARES)
- ・実施項目 3 ①海洋生態系観測と変動予測手法の開発(JAMSTEC 及び国環研)
- ・実施項目 1 海洋資源の成因に関する科学的研究(JAMSTEC) 【要点報告】
- ・実施項目 1 海洋資源の成因に関する科学的研究(産総研) 【要点報告】
- ・実施項目 2 ①海洋資源調査システム・運用手法の開発(海調協) 【要点報告】
- ・実施項目 2 ②AUV複数運用手法等の技術開発(JAMSTEC) 【要点報告】
- ・実施項目 2 ②AUV複数運用手法等の技術開発(海技研) 【要点報告】
- ・実施項目 2 ③ROVによる高効率海中システムの開発(港空研) 【要点報告】
- ・実施項目 2 ④衛星を活用した高速通信技術の開発(情通機構) 【要点報告】
- ・実施項目 3 ②ケーブル式観測システムの開発(JAMSTEC) 【要点報告】

(2) 既存事業の充実に向けた公募計画について 【非公開】

(3) 全体研究開発計画について 【非公開】

(4) 管理法人知財委員会の開催報告及び今後の進め方について 【非公開】

(5) その他

5. 配布資料

- 資料 1-1-1 発表資料 2 ③ROVによる高効率海中システムの開発(JAMSTEC)
- 資料 1-1-2 発表資料 2 ①海洋資源調査システム・運用手法の開発(J-MARES)
- 資料 1-1-3 発表資料 3 ①海洋生態系観測と変動予測手法の開発(JAMSTEC)
- 資料 1-1-4 発表資料 3 ①海洋生態系観測と変動予測手法の開発(国環研)
- 資料 1-1-5 発表資料 1 海洋資源の成因に関する科学的研究(JAMSTEC)
- 資料 1-1-6 発表資料 1 海洋資源の成因に関する科学的研究(産総研)
- 資料 1-1-7 発表資料 2 ①海洋資源調査システム・運用手法の開発(海調協)
- 資料 1-1-8 発表資料 2 ②AUV複数運用手法等の技術開発(JAMSTEC)
- 資料 1-1-9 発表資料 2 ②AUV複数運用手法等の技術開発(海技研)
- 資料 1-1-10 発表資料 2 ③ROVによる高効率海中システムの開発(港空研)
- 資料 1-1-11 発表資料 2 ④衛星を活用した高速通信技術の開発(情通機構)
- 資料 1-1-12 発表資料 3 ②ケーブル式観測システムの開発(JAMSTEC)

- 資料 1-2-1 実施計画書 2 ③ROVによる高効率海中システムの開発(JAMSTEC)
- 資料 1-2-2 実施計画書 2 ①海洋資源調査システム・運用手法の開発(J-MARES)
- 資料 1-2-3 実施計画書 3 ①海洋生態系観測と変動予測手法の開発(JAMSTEC)
- 資料 1-2-4 実施計画書 3 ①海洋生態系観測と変動予測手法の開発(国環研)
- 資料 1-2-5 実施計画書 1 海洋資源の成因に関する科学的研究(JAMSTEC)

資料 1-2-6 実施計画書 1 海洋資源の成因に関する科学的研究(産総研)
資料 1-2-7 実施計画書 2 ①海洋資源調査システム・運用手法の開発(海調協)
資料 1-2-8 実施計画書 2 ②AUV 複数運用手法等の技術開発(JAMSTEC)
資料 1-2-9 実施計画書 2 ②AUV 複数運用手法等の技術開発(海技研)
資料 1-2-10 実施計画書 2 ③ROV による高効率海中システムの開発(港空研)
資料 1-2-11 実施計画書 2 ④衛星を活用した高速通信技術の開発(情通機構)
資料 1-2-12 実施計画書 3 ②ケーブル式観測システムの開発(JAMSTEC)

資料 2-1 既存事業の充実に向けた公募計画(案)

資料 3-1 研究開発計画(案)

資料 3-2 年間スケジュール(案)

資料 4-1 管理法人知財委員会の開催報告及び今後の進め方について

参考資料 1 SIP 次世代海洋資源調査技術推進委員会 構成員名簿

参考資料 2 SIP 次世代海洋資源調査技術推進委員会(第 4 回) 議事要旨

6. 議事要旨 (※一部敬称略)

議事に先立ち、久間議員から挨拶があった。引き続き、人事異動に伴い新たに就任した松本大臣官房審議官、山本推進委員(港湾空港技術研究所 理事)より挨拶があった。なお、議事(2)以降に関しては、公募前の情報など秘密情報が含まれるため、非公開とする旨、説明があった。

(1) 平成26年度成果概要および平成27年度実施計画について

i. 実施項目 2 ③ROV による高効率海中システムの開発(JAMSTEC)

資料 1-1-1 に基づき、JAMSTEC 村島オブザーバーから説明があった。

ii. 実施項目 2 ①海洋資源調査システム・運用手法の開発(J-MARES)

資料 1-1-2 に基づき、J-MARES 浅川オブザーバーから説明があった。

iii. 実施項目 3 ①海洋生態系観測と変動予測手法の開発(JAMSTEC 及び国環研)

資料 1-1-3 及び資料 1-1-4 に基づき JAMSTEC 山本オブザーバーより、国立環境研究所河地委員より説明があった。

iv. 実施項目 1 海洋資源の成因に関する科学的研究(JAMSTEC 及び産総研)

資料 1-1-5 に基づき産業技術総合研究所 山崎オブザーバーから、資料 1-1-6 に基づき JAMSTEC 鈴木オブザーバーより説明があった。

v. 実施項目 2 ①海洋資源調査システム・運用手法の開発(海洋調査協会)

資料 1-1-7 に基づき海洋調査協会 久保田オブザーバーから説明があった。

vi. 実施項目 2 ②AUV 複数運用手法等の技術開発 (JAMSTEC・海技研)

資料 1-1-8 に基づき JAMSTEC 吉田オブザーバーから、及び資料 1-1-9 に基づき海上技術安全研究所 田村委員から説明があった。

vii. 実施項目 2 ③ROV による高効率海中システムの開発 (港空研)

資料 1-1-10 に基づき港湾空港技術研究所 松本オブザーバーから説明があった。

viii. 実施項目 2 ④衛星を活用した高速通信技術の開発 (情通機構)

資料 1-1-11 に基づき情報通信研究機構 吉村オブザーバーより説明があった。

ix. 実施項目 3 ②ケーブル式観測システムの開発 (JAMSTEC)

資料 1-1-12 に基づき JAMSTEC 川口オブザーバーより説明があった。

x. 総括

- ・先日実施されたガバニングボードでは、研究が有機的に結びついていないのではないか、との指摘があったが、今回の説明から、順調に研究が進展していることが分かった。(浦辺 PD)
- ・全て実施項目の説明を踏まえ、今年年度研究開発計画が了承された。なお、詳細部分の調整については PD 一任となった。

(2) 既存事業の充実に向けた公募計画について

資料 2-1 に基づき既存事業の充実に向けた公募計画について浦辺 PD より説明があった。

(3) 全体実施計画について

資料 3-1 に基づき研究開発計画(案)について、資料 3-2 に基づき年間スケジュール(案)について、事務局より説明があった。

(4) 管理法人知財委員会の開催説明及び今後の進め方について

資料 4-1 に基づき JAMSTEC 菊田オブザーバーより説明があった。

(5) その他

以上